



学校だより

牧 野

高岡市立牧野小学校
平成26年11月4日



校長 岩坪 智恵子

2年生の廊下から漢字指導をする先生の声が聞こえてきます。「木の下に立って見ている。早く独り立ちしてね。いつまでも洗濯をしたりご飯をつくってもらえたりするわけではありません。これが親です。」教室の中を見ると、子供たちが神妙な顔をして黒板を見つめています。

親といえば、職員室の入り口のカレンダーに、お母さんが子供を抱っこする絵、そして「10歳までは甘えさせる」との言葉が添えられていたことを思い出しました。十分に愛情を注ぐことで、子供はやがて自立するということでしょうか。子供でいてくれる時間というのは、過ぎてみれば短いものです。秋の夜長、かけがえのない親子の時間をいかがお過ごしでしょうか。

教育と脳科学～講演「成長する学童の脳が求める育脳の脳科学」より～

先日、富山市水橋ご出身の林成之氏（日本大学大学院 総合科学研究科 名誉教授）の講演を拝聴する機会がありました。オリンピック日本代表選手の脳科学的戦略指導に参加されたご経験（2008～2013年）を交えながら、成長期の子供たちの教育に対して、脳科学の立場から詳しくお話をしてくださいました。

子供が繰り返して考えることで微妙な違いに気付き、判断力が増すことや、優しい問題をたくさん解くことで味わう「理解できたという成功体験」が、倍の力で子供の脳を機能させること、また、「大体できた」で終わらせず、人に説明できるまでやり抜くことで記憶の質が高まるとのことです。

さらに、「本番・勝負に弱い」という課題に対しては、①自分で考え成し遂げる習慣、②直ちに実行する習慣、③達成の仕方までこだわる習慣、④最後までやりきる習慣の大切さがあげられました。特に④に関しては、後片付けがきちんとできるように、できないときには手伝ってでもさせることが重要であるとのこと。また、互いの違いを認め、相手の気持ちに入ろうとすることは、子供のもつ能力を高めるとのお話もあり、家庭や学校生活の両方に通じる内容で、興味深く聞かせていただきました。



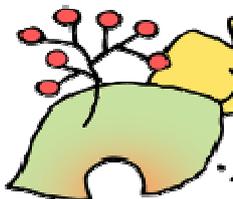
☆全校朝マラソン

校内持久走大会に向けて、がんばりました。



☆1年生 芋掘り

大きなさつまいもがたくさん収穫できました。



＜お礼＞ 学習発表会に、多数ご来場いただきありがとうございました。ご家族の皆さんからいただいたお褒めの言葉は、子供たちの励みになったと思います。今後とも宜しく願いいたします。

